

# 下野市

## 子育て支援ニーズ調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。下野市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「下野市次世代育成支援行動計画」に基づき、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めてまいりました。

このたび、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、市民のみなさまの子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

このニーズ調査は、市内の小中学生のお子さんを持つ保護者の方600人をお願いするもので、調査票は、各小学校における児童数に応じて、無作為に抽出した保護者の方に配布することになっておりますので、ご理解のうえ、併せてご協力をお願いします。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にもれたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成25年●月

下野市長 広瀬寿雄

### ご記入にあたってのお願い

1. この調査票を持ち帰ったお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけていただく場合と、数字を記入する場合があります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは、**平成25年●月●日(●)**までに、同封の返信用封筒に入れ、担任の先生にご提出ください。

調査に関するご質問は…

下野市健康福祉部児童福祉課

電話：0285-52-1114（学校ではありません）

までお問い合わせください！



# 子ども・子育て支援新制度とは？

平成 24 年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、同月に公布されました。

この関連3法は、すべての子どもの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とし、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援を総合的に推進していくとするものです。



子ども・子育て支援の意義=子どもの視点に立った、子どもが健やかに成長することができる社会の実現



この子ども・子育て支援の意義に基づき、子育ての第一義的責任は親であり、家庭が教育の原点であるという前提のもと、保護者が、子育てについての責任を果たせるよう、課題解決に向けた取り組みを進めます。

- 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
- 待機児童解消に向けた保育の量的拡大・確保及び子どもが減少傾向にある地域の保育支援
- 地域の子育ての一層の充実

## 用語の定義

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

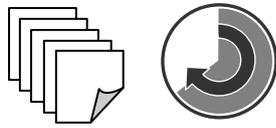
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	幼児期の学校における教育の意味で用いている



## 2 お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは…

### ■フルタイム



1週5日程度・  
1日8時間程度  
の就労



### ■パート・アルバイト等 フルタイム以外の就労

問6 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(○は1つ)

①母親	②父親	
1	1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2	2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3	3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4	4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5	5	以前は就労していたが、現在は就労していない
6	6	これまで就労したことがない

### 【問6で①母親と②父親でそれぞれ「1」～「4」(就労している)を選択した方】

問6-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

①母親	1週当たり □ 日	1日当たり □ □ 時間
②父親	1週当たり □ 日	1日当たり □ □ 時間

問6-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず、時間は24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字)

①母親	家を出る時間 □ □ 時	帰宅時間 □ □ 時
②父親	家を出る時間 □ □ 時	帰宅時間 □ □ 時

### 【問6の①母親と②父親でそれぞれで「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)を選択した方】

問7 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

① 母親	② 父親	
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

**【問6の①母親と②父親で「5」または「6」(就労していない)を選択した方】**

問8 就労したいという希望はありますか。

①母親(番号と記号それぞれ○は1つ。また数字は一律に一字。)

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

- ア. フルタイム
- イ. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)  
⇒1週あたり  日 1日あたり   時間

②父親(番号と記号それぞれ○は1つ。また数字は一律に一字。)

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

- ア. フルタイム
- イ. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)  
⇒1週あたり  日 1日あたり   時間

### 3 お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問9 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ(公立学童保育)」の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。必ず、時間は24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)

- ・お子さんが1～3年生の場合は、「①小学校1～3年生」「②小学校4～6年生」の両方を記入してください。
- ・お子さんが4～6年生の場合は、「②小学校4～6年生」のみ記入して下さい。

【放課後児童クラブ(公立学童)】保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生全学年を対象として保護者に代わって預かり、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るサービスです。月当りの利用料は、6,000円程度です。

	①小学校1～3年生	②小学校4～6年生
1. 自宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事(音楽、スポーツ、学習など)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 <sup>*1</sup>	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 <sup>*2</sup>	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ(公立学童保育)	週に <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで	週に <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. 幼稚園の預かり保育	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
9. その他(公民館、公園など)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい

(※1)児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6」を選択

(※2)地域の方々の参画を得て、子どもたちと勉強やスポーツ・文化活動等を行うことで、子どもたちの安心・安全な居場所を提供する教室です。

#### 【問9で「6」(放課後児童クラブを利用したい)を選択した方】

問10 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ(公立学童保育)の利用希望はありますか。また利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)

※サービスの利用には、一定の利用料がかかります。

①土曜日(○は1つ。また数字は一枠に一字。)※お子さんが4～6年生の場合は、2または3に○をつけてください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)の間も利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

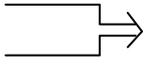
②日曜・祝日(○は1つ。また数字は一枠に一字。)※お子さんが4～6年生の場合は、2または3に○をつけてください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)の間も利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

問 11 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(公立学童保育)の利用希望はありますか。また利用したい時間帯を、24 時間制でご記入ください。(○は1つ。また数字は一枠に一字。)

※サービスの利用には、一定の利用料がかかります。

※お子さんが4～6年生の場合は、2または3に○をつけてください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい		利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)の間も利用したい		□□時から □□時まで
3. 利用する必要はない		

**4 地域とのかかわりについてうかがいます**

問 12 あなたには、子育てのことで交流したり相談できる仲間がいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 困ったときに子どもを預けられる仲間がいる	2. 子どもと一緒に出かけられる仲間がいる
3. 子育てについて相談し合える仲間がいる	4. まめに連絡をくれる仲間がいる
5. 特にいない	

問 13 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(○は1つ)

1. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない	2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	4. 現在参加しており、今後も参加するつもりである

**【問 13 で「2～4」(現在子育てグループなどの活動に参加していない、今後参加しない)を選択した方】**

問 13-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動の情報や参加方法を知らないから	2. 身近な場所で参加できる活動がないから
3. 活動に参加する余裕や時間がないから	4. 気軽に参加したり、やめたりできないから
5. 人間関係がわずらわしいから	6. 特に必要を感じないから
7. その他 ( )	

問 14 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり、声をかけてほしい
2. 子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい
3. 話し相手や相談相手になってほしい
4. 用事があるときなどに、子どもを預かってほしい
5. 家事や子どもの世話を手伝ってほしい
6. 子どもと一緒に遊んだり、絵本を読んだりしてほしい
7. 親子が参加する地域のイベント等に参加したり、企画・運営してほしい
8. 子育てに関してあまり干渉しないでほしい
9. その他 ( )
10. 特にない

## 5 子育て全般についてうかがいます

問 15 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑥それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)なお、サービスによっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

サービスの種類	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用 したい
①家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ファミリーサポートセンター 「子育ての手助けをしてほしいかた(依頼会員)」と「子育ての応援をしたいかた(協力会員)」が会員になり、育児に関する相互援助を行うシステム。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤家庭児童相談窓口(児童福祉課)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥放課後児童クラブ(公立学童)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 16 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(○は1つ)

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | 2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい |
| 3. 辛いと感じることの方が多い  | 4. その他( )                   |
| 5. わからない          |                             |

### 【問 16 で「1」～「3」(子育てが楽しいあるいは辛いと感じる)を選択した方】

問 16-1 問 15 で「1」を選んだ方は、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。また、「2」・「3」を選んだ方は、自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。(○は3つまで)

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実  | 2. 保育サービスの充実            |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 4. 地域における子どもの活動拠点の充実    |
| 5. 妊娠・出産に対する支援     | 6. 母親・乳児の健康に対する安心       |
| 7. 子どもの教育環境        | 8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 9. 仕事と家庭生活の両立      | 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減   |
| 11. 保護を要する児童に対する支援 | 12. その他( )              |

